Proceq DY-2
取扱説明書

Swiss Precision since 1954

目次

1. 安全と責任 2
1.1 安全性と使用上のご注意 2
1.2 責任 2
1.3 安全のしおり 2
1.4 標準適合性 2

2. 規格と機器選定 3
2.1 主要なオフテスト標準の概要 3
2.2 DY-2モデル 4

3. はじめに 4
3.1 DY-2の充電 4
3.2 DY-2操作パネル 5
3.3 DY-2メニュー 6

4. テストパラメータの設定 6

5. DY-2でプルオフテストの実行 9
5.1 テストの準備 9
5.2 測定手順 10
5.2.1 ピーク負荷、テスト期間および実効負荷率 11
5.2.2 負荷率警告 11
5.3 故障モードの録音 12
5.4 緊急停止 12

6. アクセサリー 13
6.1 大規模なテストディスクでの作業 13
6.2 垂直面またはオーバーヘッドの作業 13

7. 注文案内 14
7.1 ユニット 14
7.2 テストディスクおよびアクセサリ 14

8. 技術仕様 15
8.1 メンテナンスとサポート 15
8.2 標準保証と延長保証 15

9. DY-Linkソフトウェア 16

© 2014 Proceq SA

1. 安全と責任

1.1 安全性と使用上のご注意

このマニュアルは安全性、使用、DY-2のメンテナンスに関する重要な情報が含まれています。 機械を初めて使用する前に慎重にマニュアルをお読みください。将来の参考の為に、本マニュアルを安全な場所に保存してください。

1.2 責任

当社の [販売と配達に関する一般的な条件]がすべての場合に適用されます。下記通りの一つ又は多数の原因である場合、人身傷害と財産損害によっての保証と賠償請求を支持することができません。

- 本マニュアルで説明の指定用途に応じて機械を使用しない場合。
- 機械とその部品の操作とメンテナンスに対しての間違った性能チェック。
- 性能チェック、機械とその部品の操作とメンテナンスを処理する時に本マニュアルのセクションに従わない場合。
- 機械とその部品に対しての不正な構造変更。
- 異物、事故、破壊行為と不可抗力の影響による深刻な損害。

このドキュメント中の情報は信頼できて正確です。 Proceq SAは情報の完全性および/または正確性について、一切の保証を拒否して責任を除外します。

1.3 安全のしおり

本機械は子供、又はアルコール、薬物又は医薬製剤の影響がある人より操作することができません。 本マニュアルに精通していない人はこの機械を使う場合、監督を受けなければなりません。

1.4 標準適合性

DY-2は次の章に掲げる標準に完全に適合しています。

Proceq DY-2は、EN ISO 7500-1付属書C「試験機を等級分類するときの代替的方法」に従って校正されています。

測定器の校正に必要なソフトウェアは、DY-Linkに含まれています。

© 2014 Proceq SA

2. 規格と機器選定

2.1 主要なオフテスト標準の概要

標準	説明	テストディスク	指定された負荷率	総試験時間
EN 1542	コンクリート構造の保護と修復に対しての製品･システム - プルオフによる接着強度の測定	Ø 50mm	0.05 ± 0.01 Mpa/s	< 90s
EN 1015-12	硬化した下塗と基板上のモルタル塗りの接着強度測定	Ø 50mm	0.003 – 0.1 MPa/s	20-60s
EN 1348	タイルとスラブ用のモルタル 屋内および屋外に対してセメントモルタルの接着強度測定。	Ø 50mm	250 ± 50 N/s	-
ISO 4624	塗料とワニス - 接着のプルオフテスト。優先 EN24624 と NF T30-062	Ø 20mm	< 1 MPa/s	< 90s
BS 1881 パート 207	近い表面テストによるコンクリート強度の評価に対して建議	Ø 50mm	0.05 ± 0.03 MPa/s	-
ASTM D 4541	小型携帯用接着テスターで塗膜のプルオフ強度に対して標準テスト方法	-	< 1 MPa/s	< 100s
ASTM C 1583	コンクリート表面の抗張力、接着強度または直接引張によるコンクリート補修とオーバーレイ材料（プルオフ法）の抗張力に対して標準試験方法	鋼鉄 Ø 50mm	5±2 psi/s (0.035±.015MPa/s	-
ASTM D 7234-05	小型携帯用プルオフ接着テスターでコンクリート上に塗膜のプルオフ強度に対して標準テスト方法	Ø 20mm Ø 50mm Ø 75mm	< 0.2MPa/s, 30psi/s	5s to 30s
ASTM D 7522	コンクリート基板に接着FRPのプルオフ強度に対して標準試験方法	Ø 50mm Ø 75mm Ø 100mm	< 60 MPa/min, < 150 psi/min	
ZTV-SIB 90	連邦運輸省。建築工学およびコンクリート製構成要素の修理に関する追加契約条件およびガイドライン	Ø 50mm	コンクリート 100 N/s 弾性表面 300N/s （DY-206、DY-216 は弾性表面にお勧めです）	
SIA 281/3	ビチューメンシーティングプルオフ法試験	dia. 50mm 300 +/- 15 N/s	（DY-206、DY-216 は弾性表面にお勧めです）	
JGJ110	建築工事装飾タイル接着強度試験標準			
JGJ126	外壁化粧レンガ施工および検査受入標準	95x45x8mm, 40x40x8mm		
JGJ144	外壁断熱工事技術標準	100x100x8mm		

© 2014 Proceq SA

2.2 DY-2モデル

DY-2の3つのバージョンは最大牽引力によって区別可能てす。

- DY-206 - 6 kNは低強度のアプリケーションの精度を増加しています。負荷率要件が高いため、弾性表面にお勧めです。
- DY-216 - 16 kNはほとんどのアプリケーションをカバーしています。負荷率要件が高いため、弾性表面にお勧めです。
- DY-225 - 25 kNはASTM C1583に準拠することが必要で、一般的にコンクリート構造に接着される繊維強化ポリマのテストに使用されます。

以下の表は確定する為にテストディスクの選択を通じておすすめの動作範囲を示しています。このモデルはアプリケーションに最も適しています。

	おすすめの動作範囲		最大引張速度
	張力	テストディスク **Ø 50mm**	
DY-206	0.6 - 6 kN	0.3 - 3.1 MPa	4.65 mm/min 0.183 inch/min
	135 - 1349 lbf	44 - 443 psi	
DY-216	1.6 - 16 kN	0.81 - 8.1 MPa	
	360 - 3597 lbf	118 - 1182 psi	
DY-225	2.5 - 25 kN	1.3 - 12.7 MPa	2.2 mm/min 0.086 inch/min
	562 - 5620 lbf	185 - 1847 psi	

注意：され始めます。

3. はじめに

注意：出荷時にバッテリパックが完全に充電されていません。使用する前に、完全にバッテリーを充電してください。 電電池の損傷を防止する為に、過放電を避けて、電池を取り出す状態で長期に保存してください。室温で機械を保管して、少なくとも年に一度、バッテリーを完全に充電してください。

3.1 DY-2の充電

完全に充電されたバッテリーは約80の完全な負荷サイクルに対して十分です。
バッテリステータスのシンボルはアキュムレータがその容量の10%である時に表示されます。この場合に測定を行う可能性がありますが、ユニットをウォールアダプター又はPCに接続して、機械背面のミニUSBポートでバッテリを充電することを勧めます。 完全充電サイクルは約3時間（深放電の場合がもっと長い）がかかります。

注意：バッテリーを充電する時又は主電源で動作する時に、充電回路は連続充電の5時間後に切断されます。これは安全予防策です。測定器は5分後にオフになります。

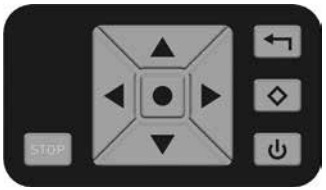
© 2014 Proceq SA

予備バッテリーパック（品番346 10 220）は予備として購入して保留することができる。

1 ハンドホイール
2 バッテリーパック一式
3 バッテリー収納部用シール
4 バッテリー収納部用カバープレート
5 USB カバー
6 フットコンプリート
7 ドロースピンドル
8 ドローボルト用カップリング

3.2 DY-2操作パネル

メニュー項目を強調する為にナビゲーションキーを使います。そして、センターキーを押してそれを選択します。



戻るボタン– 変更を行わずに前のメニュー に戻ります。

第二のファンクションボタン - 第二の機能画面をアクセスします。

電源スイッチ

STOPボタンはいつでもテストを停止することができるために使用されます。5.4を参照してください。

操作 - 電源ON / OFF

- 電源ON - 電源ボタンを押します。
- 電源OFF - それはメインメニュー画面からだけ電源オフすることが可能です。他のメニューが表示されている場合、メインメニューに戻る為に戻るボタンを押してください。
  シリアル番号、ハードウェアおよびソフトウェアバージョン、バッテリーステータスを情報画面に表示する為に電源ボタンを1回押します:

電源ON - 電源ボタンを押します。

- 中央のキーまたは「戻る」ボタンを押して情報画面からメインメニューに戻ります。

測定器は非アクティブな状態の5分後に自動的にシャットダウンします。

© 2014 Proceq SA

3.3 DY-2メニュー

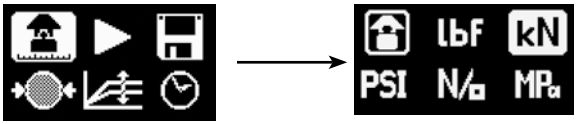
起動時にメインメニュー画面が表示されます。

	測定ユニットを設定します		テストを開始します		メモリ
	テストディスク直径の選択/テストディスクエリアの設定		負荷率/最大の負荷を設定します		日付と時間を設定します

4. テストパラメータの設定

注意：ユニットの電源がオフされる時、ほとんどの電流テスト設定が保存されます。

単位の設定



- 下記から選択します。lbf, kN, psi, N/mm2 and MPa.
- センターキーを押て操作を完了します。

注意：ユニットが選択されると、負荷率の選択は同じユニットで定義されます。一つのユニットから別のに切り替えたときに、負荷率とディスクサイズの設定は同じままです。 ユニットは自動的に変換されます。例えば、50 mm = 1.97”, 0.2 MPa/s = 29 psi/s

テストディスクサイズの設定

円形試験ディスクの場合:
- ディスクの直径を入力します。
- 中央のキーを押して操作を終了します。

正方形のディスクの場合:
- 2番目の機能キーを押します。
- 面積を入力します。たとえば、50x50 mmテストプレートの面積は2500 mm2となります。(直径の設定により、この場合の理論的な計算値が表示されることに注意してください。)
- 中央のキーを押して操作を終了します。

© 2014 Proceq SA

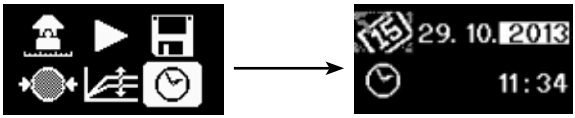
負荷パラメータの設定

最大適用負荷:
- 最大の適用される荷重を設定するには、第二のファンクションキーを押します。
- テスト中に適用される最大荷重を入力します。最大負荷が必要とされない場合、これは機械でサポートされる最大値に設定されるべきです。i.e. 6 kN, 16 kN 又は 25 kN.
- センターキーを押て操作を完了します。

負荷率:
- 標準で指定された負荷率を設定します。負荷率が指定されていない場合、100 N/s (22.5 lbf/s) の典型的な負荷率を選択することができます。
- センターキーを押て操作を完了します。

テスト終了条件:
- テスト終了の条件を設定するには、第二のファンクションキーを再度押します。デフォルト値は80%です。これは、荷重がピーク負荷の80%に低下したときにテストが完了することを意味します。
- 柔軟性または弾性の高い材質についてテストする場合は、テストディスクが基材から完全には分離しない可能性があります。このパラメータを0%に設定すると、最大ストロークの5 mmに達するまで機器が引っ張り続けるようにすることができます。

日付と時間の設定



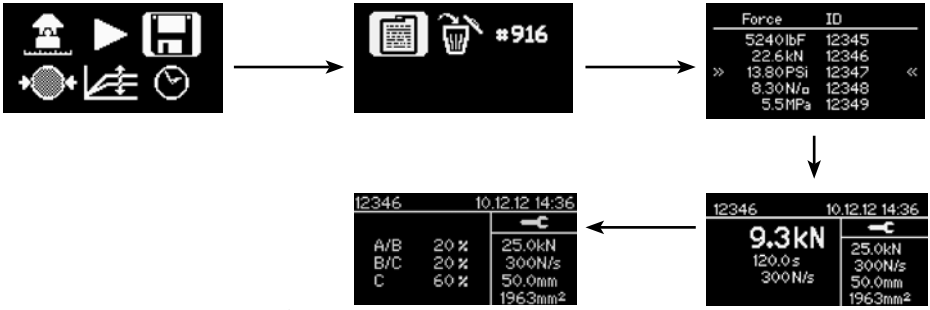
すべての測定はタイムスタンプと一緒に保存されます。

日付と時間を設定します
- いずれかの列から項目を選択する為に、左右のナビゲーションキーを使用します。
- 上下のナビゲーションキーを使って、数値を調整します。
- センターキーを押て操作を完了します。

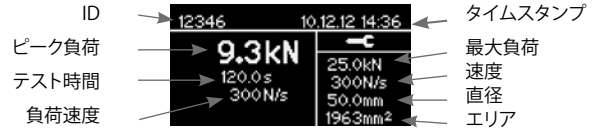
© 2014 Proceq SA

測定メモリ

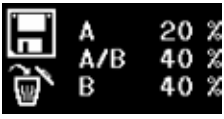
- メモリは100の測定の最大値を保持することができます。
- 完全にフルの時、最も古いものは上書きされます。
- 保存された測定値を見直すには、以下の手順に従います。



- メモリアイコンを選択してください。
- 測定結果を見直すには、アイコンを選択してください。
- 測定の詳細を表示する為に、要求測定をスクロールしてセンターキーを押します。



- 主なテスト結果（上を参照）と故障モードのレポート画面（下を参照）を切り替えるには、左右のナビゲーションキーを押してください。



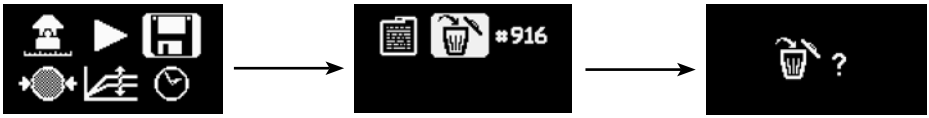
詳細については、第5.3章を参照してください。

© 2014 Proceq SA

測定ID

測定IDはユーザーによって設定することができます。IDは各測定後にインクリメントされます。
- センターキーを押て操作を完了します。

保存されたすべてのオブジェクトを削除します。



- センターキーを押して削除します。
- 削除せずに脱出する為に、戻るボタンを押してください。

5. DY-2でプルオフテストの実行

DY-2はさまざまな基準に基づいて、プルオフテストに対して非常に易く動作するように設計されています。　これはユーザーが負荷率を指定することができますし、グラフ表示（DY-Linkソフトウェアの経由で）の積載率を提供します。 標準は被試験のプルオフテストおよび材料種類の目的に応じて異なります。（第2章のリストを参照してください）。普通、キーテストパラメータは次のとおりです。
- テストディスクのサイズ
- テストディスクに適用された負荷率
- テストに許可された合計時間

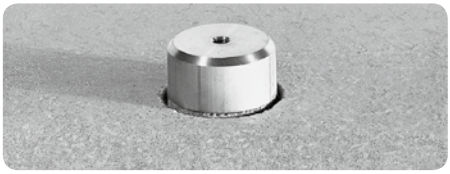
5.1 テストの準備

プルオフテストはいろいろな異なる材料の種類で使用されています。実際のテストパラメータは以下に指摘した指定されている標準から取得する必要があります。

- テストディスクの準備。被試験材料に応じて良好な接着性を確保するために、エメリー紙を用いて表面を粗面化する必要があるかもしれません。それは表面からグリースを除去することもお勧めします。
- テスト対象の表面にテストディスクを接着します。接着剤の種類はアプリケーションによって異なりますが、代表的な接着剤は以下のとおりです。
  - Devcon 2 Ton Epoxy
  - Loctite 907, Loctite 3430
  - Sikadur 30, Sikadur 31
  - Araldite Regular/Rapid
- 部分的なコアリング、または切削によるテストエリアの隔離。一般的に適切なサイズ（例えば、50mm）のコアリングビットは塗膜に穴を開けて、コンクリート基板にドリルで穴を開けるために使用されます。（例：EN1542は基板に15mmをお勧めします）。

© 2014 Proceq SA

コア



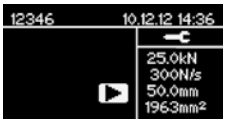
テストディスク6

- 接着剤がセットされることを待ちます。
- テストディスクに引きボルトを固定します。(DY-2のテストディスクは10mm引きボルトを使用しています。8mm と12mmの引きボルトもできます)。
- カップリングに引きボルトを取り付けます。
- これはテストの準備が完了です。

注意： プルオフテスターの位置を確認することが必要であれば、完全に水平または垂直面に測定する場合、水準器を使用することができます。 正しい位置合わせが脚のネジを調整することによって達成することができます。 表面が傾いている場合、この方法は実用的ではありません。

5.2 測定手順

センターキーを押して開始します。

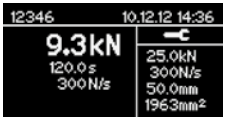


設定を確認します。(注意：正方形ディスクの場合、直径は理論値です。)
パラメータは確認することができます。変更したい場合、戻るボタンを押してメインメニューに戻ります。

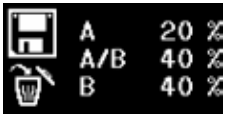
プレローディング。 ハンドホイールを回して、テストディスク上のたるみを取ります。 掛かる力が点滅測定値として表示されます。 0.1 KN (22 lbf) の典型的な力が適切です。
センターキーを押してテストをスタートします。

測定画面は負荷の増加を示しています。
250 N (56 lbf) の力が適用されるまで、公称負荷率が適用されます。この時点以降テスト期間中は、プログラムされた負荷率が適用されます。

© 2014 Proceq SA



テストの完了時に要約画面にはピーク負荷、テスト期間と実効負荷率を示します。モーターは次のテストを開始する準備が自動的に巻き取ります。



“Failure Mode Recording”を入力しセンターキーを押します。（下記参照。）
保存ボタンを押してテストを完了して、メインメニューに戻ります。

注意： 故障モードを記録したくない場合は、単に保存ボタンを押してテストを完了します。テストが保存されてメインメニューに戻ります。

5.2.1 ピーク負荷、テスト期間および実効負荷率

ピーク負荷とは、テスト期間中に到達する最大荷重です。
テスト期間は、負荷が250 N（56 lbf）に達した時点（負荷率制御開始時）に始まり、テスト終了条件に達した時点に終了します。0%に設定した場合は、誤解が生じる可能性があります。この場合は、グラフ出力を確認してください。
実効負荷率は、負荷率制御の開始時点（250 N）から、ピーク負荷の80%に達した時点まで計算されます。（これは、弾性またはサーモプラスチック材質のテスト時に、完全には分離しない場合に発生する負荷率の不整合を回避するために実行されます。）

5.2.2 負荷率警告

片側からのプルオフテストは、硬質の基材に最も適しています。変形しやすい材質または弾性コーティングでは、プルオフテストの結果に錯誤が発生する可能性があります。DY-2では、そのような材質のテスト時に分析に役立つツールを提供しています。
測定画面でテスト中にグラフが点滅するアイコンとして表示される場合は、プログラムされた負荷率に到達できないことを表しています。

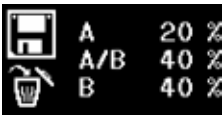
このような場合に最も可能性の高い原因は、基材またはテスト対象材質のプラスチックが変形したこと、または機器の性能を超える負荷率が選択されたことです。
このような場合は、テスト結果を保存してDY-Linkにダウンロードし、詳細に分析することをお勧めします。

© 2014 Proceq SA

5.3 故障モードの録音

多数の規格では、ユーザはさまざまな程度の差で故障モードを記録する必要があります。 DY-2はユーザーが総合的なレポートのテスト結果で故障モードを記録することができます。 故障を記録する可能性は様々な規格の要件に対応できる柔軟性を備えています。
例えば、ISO 4624故障モードは分類を報告します。

- Aは基材の凝集破壊です。
- A / Bは基板と下塗り間の接着不良です。
- Bは下塗りの凝集破壊です。
- B/Cは下塗りと中塗り間の接着不良です。
- 等。
- 破損タイプごとに最も10%に近い割合として破損の面積を推定する。



一番目の列はブレークが行われた場所を示します。第2列は設定レイヤーのブレークの割合を示します。ASTM C1583の指定された例として簡略化レポートに対して、ユーザはB100%を入力して下塗りの故障を示すことができます。

- いずれかの列から項目を選択する為に、ナビゲーションキーを使用します。
- A、Bなどについて独自の分類を定義します。
- 値を変更するために中央のキーを使用します。

5.4 緊急停止

緊急の場合、赤色のSTOPボタンを押すことができます。 機械はどのような場合に停止しても、次のダイアログが表示されます。

- "Rewind icon"を押すと、測定器は開始の位置に戻ることができます。
- "Cancel icon" を選択すると、ポンプ動作せずにメインメニューに戻ることができます。

© 2014 Proceq SA

6. アクセサリー

6.1 大規模なテストディスクでの作業

標準DY-2の構成について、直径50mmまたは50×50mmの正方形のテストディスクを使用することができます。

大きいテストディスク用アダプタープレート

アダプター板（部品番号346 10 530）はProceq範囲内のすべてのテストディスクを収容します。

注意：アダプター板で作業する場合、最大荷重は16kNを超えなければなりません（第4章-"負荷パラメータの設定"を参照してください）。

6.2 垂直面またはオーバーヘッドの作業

垂直面またはオーバーヘッドを作業する時、DY-2を結合する前にテストディスクがしっかりと表面に接着されていることを確認します。
オプションの固定用キットはこの目的に利用可能です（品番346 10 550）。

警告！　操作者は機械が落下して破損または損害の原因となることができないことを確認する責任があります。

© 2014 Proceq SA

7. 注文案内

7.1 ユニット

品番	説明
346 10 000	DY-206プルオフテスター6kNはバッテリーパック、USBケーブル付きバッテリー充電器、テストディスクアルミØ50mm/M10、引きボルトM10、トルクスドライバ、ソフトウェア、取扱説明書、校正証明書、携帯用ケースを含んでいます。
346 20 000	DY-216プルオフテスター16kNはバッテリーパック、USBケーブル付きバッテリー充電器、テストディスクアルミØ50mm/M10、引きボルトM10、トルクスドライバ、ソフトウェア、取扱説
346 30 000	DY-252プルオフテスター25kNはバッテリーパック、USBケーブル付きバッテリー充電器、テストディスクアルミØ50mm/M10、引きボルトM10、トルクスドライバ、ソフトウェア、取扱説明書、校正証明書、携帯用ケースを含んでいます。

7.2 テストディスクおよびアクセサリ

34610500S	テストセットディスク鋼鉄、Ø50mm/M10、10の設定
346 10 501S	テストディスクアルミ、Ø50mm/M10、10の設定
346 10 502S	テストディスクアルミ、Ø 20mm/M10、10の設定
346 10 503S	テストセットディスクアルミ、50x50mm/M10、10の設定
346 10 504S	テストセットディスクアルミ、40x40mm/M10、10の設定
346 10 505S	テストディスクアルミ、Ø 100mm/M10、3の設定
346 10 506S	テストセットディスクアルミ、100x100mm/M10、3の設定
346 10 507S	テストディスクアルミ、Ø 75mm/M10、5の設定
346 10 250	DY-2の短い引きボルトM10
346 10 520	DY-2の短い引きボルト M8
346 10 521	DY-2の短い引きボルトM12
346 10 530	大きいテストディスク用アダプタープレート
346 10 220	完全なバッテリパック
346 10 550	垂直およびオーバーヘッド表面処理用の固定キット

注意： Proceqテストディスクは M10の引きボルトが必要です。 M8とM12の引きボルトがProceqによって提供されていないテストディスクで使用するものです。 25kN機械に対してM10の引きボルトは16kN以上の力が必要です。

© 2014 Proceq SA

8. 技術仕様

	最大引張力	最大引張速度
DY-206	6 kN	4.65 mm/min 0.183 inch/min
	1349 lbf	
DY-216	16 kN	
	3597 lbf	
DY-225	25 kN	2.2 mm/min 0.086 inch/min
	5620 lbf	
最大ストローク	5 mm	
校正精度	EN ISO 7500-1 Class 1 (±1%)	
メモリ容量	100測定	
バッテリー容量	1500 mAh, 3.7V(min. 80 測定)	
充電器の接続	USBタイプA、(5V、500mA)	
重量	4.5 kg	
ハウジングの寸法	109 x 240 x 205.5 mm	
動作温度	-10～50℃ (32～122°F)	
保存温度	-10～70℃ (14～70.00℃)	
IP分類	IP54	

8.1 メンテナンスとサポート

メンテナンス

信頼性の高い正確な作動を確保するために、年単位での保守と再校正をすることをお勧めします。しかし、お客様はアプリケーションと使用状況に基づいて、自分のサービス間隔を決定することができます。本楽器は適切な間隔を決定することに役立ちます。1500完全なテストサイクル後に警告を与えます。

サポートコンセプト

Proceqはグローバルサービスとサポート施設によって、この機械に完全なサポートサービスを提供することにこだわります。 ユーザーがwww.proceq.comに製品を登録して、最新の利用可能なアップデートおよび他の重要な情報を得ることをお勧めします。

8.2 標準保証と延長保証

標準保証について、24ヶ月のは機器の電子部分で、6ヶ月のは機器の機械部分です。 延長保証は一つで、機械の電子部分が購入日から90日間の二、三年間です。

© 2014 Proceq SA

9. DY-Linkソフトウェア

DY-Linkのインストール

"DY-Link Setup.exe" ファイルをコンピュータまたはCDに置いてクリックしてください。
スクリーン上に表示される指示に従います。

"Launch USB Driver install"が選択されていることを確認してください。

DY-Linkを起動してDY-2に保存されたデータを表示します。

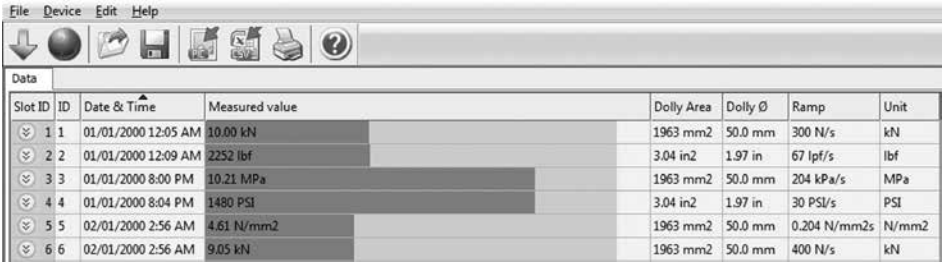
デスクトップ上のDY-Linkアイコンをダブルクリックして、又はスタートメニューでDY-Link を起動します。DY-Linkは空白リストから開始されます。

アプリケーションの設定

メニューの "File – Application settings" はユーザーが言語と使用の日付と時間形式を選択することができます。

データのダウンロード

USBポートにDY-2 を接続して、アイコンをクリックして機械からのすべてのデータをダウンロードします。

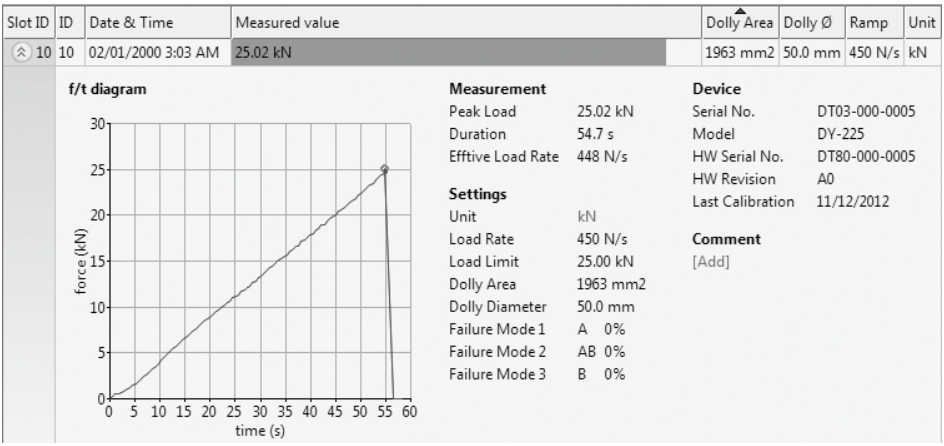


Slot ID	ID	Date & Time	Measured value	Dolly Area	Dolly Ø	Ramp	Unit
1	1	01/01/2000 12:05 AM	10.00 kN	1963 mm2	50.0 mm	300 N/s	kN
2	2	01/01/2000 12:09 AM	2252 lbf	3.04 in2	1.97 in	67 lpf/s	lbf
3	3	01/01/2000 8:00 PM	10.21 MPa	1963 mm2	50.0 mm	204 kPa/s	MPa
4	4	01/01/2000 8:04 PM	1480 PSI	3.04 in2	1.97 in	30 PSI/s	PSI
5	5	02/01/2000 2:56 AM	4.61 N/mm2	1963 mm2	50.0 mm	0.204 N/mm2s	N/mm2
6	6	02/01/2000 2:56 AM	9.05 kN	1963 mm2	50.0 mm	400 N/s	kN

保存されたすべての設定が適切な列を右クリックすれば、編集することができます。

負荷率のグラフを表示するには、"Slot No." 列の二重矢印のアイコンをクリックしてください。

© 2014 Proceq SA



注意：“Add” をクリックして、オブジェクトにコメントを追加します。.

DY-Linkには"Summary"ウィンドウもあります。一連のテストを比較する際に便利です。
サマリに測定を含める/サマリから測定を除外するには、"Slot ID"列のサマリ記号をクリックします。この記号が黒の場合は測定がサマリに含まれ、グレーの場合はサマリから除外されます。サマリを作成するには、選択されたすべてのシリーズで同じ単位が使用されている必要があります。

データのエクスポート

DY-Link　では、ユーザーが第三者のプログラムで選択したオブジェクトまたはすべてのプロジェクトをエクスポートすることができます。

エクスポートしたい測定対象（複数可）をクリックします。

“Export measurements to CSV file(s)”をクリックしてください。 この測定対象データは、Microsoft Office Excelコンマ区切りのファイルまたは多数のファイルとしてエクスポートされます。エクスポートオプションは、次のウィンドウで選択することができます。

“Export measurements as graphic file(s)” クリックして、様々なエクスポートオプションを選択することができるウィンドウを開きます。

どちらの場合でも、プレビューウィンドウは電流出力選択の効果を示しています。

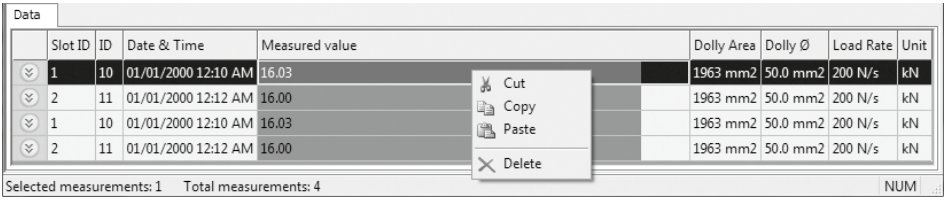
ファイルロケーションのを選択して、ファイル名を付けて、グラフィカルな出力の場合に出力グラフィック形式を設定することで、エクスポートをクリックして終了します。.png、.bmp 又は .jpg

データ編集

メニュー項目の“Edit” はダウンロードされたデータからの測定値を“select all”、“copy"、“paste” と“delete”することができます。

© 2014 Proceq SA

あるいは、1つまたは複数の測定行を右クリックして、選択した測定値を“cut”、“copy”、“paste” または “delete” することができるコンテキストメニューを呼び出すことができます。



全部の測定に対して、次のフィールドを変更することができます。

- ID
- 日付と時間
- 単位

DY-2に保存されているデータの削除

メニュー項目“Device – Delete all measurements object on DY-2” を選択して、DY-2に保存されたすべてのデータを削除します。すべてのデータが削除されようとしているときに警告が表示されます。 削除を確認します。これは個別のシリーズを削除することはできません。

追加の機能

下記メニューが画面の上部にあるアイコンで利用できます。

"PQUpgrade"アイコン–インターネットまたはローカルファイルでファームウェアをアップグレードすることができます。

“Open DY-link project file”アイコン–以前に保存した.pqr プロジェクトを開くことができます。

"Save project" アイコン–現在のプロジェクトを保存することができます。

"印刷" アイコン– プロジェクトをプリントすることができます。 すべてのデータ又は選択された測定値をプリントしたい場合、プリントダイアログで選択することができます。

それは多くの測定値を選択することができます。そして、CTR-C と CTRL-Vを使用して、プロジェクトファイル間にそれらをコピーして貼り付けます。

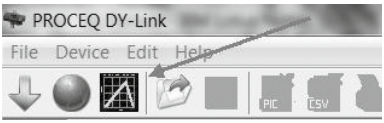
ライブビューモード

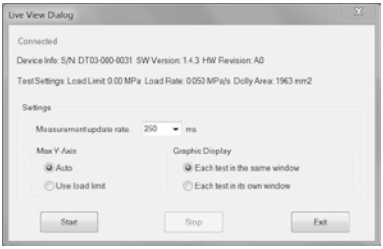
ライブビューモードでは、DY-2をPCに接続して、負荷の増加をリアルタイムでモニタリングすることができます。

注意： ライブビューモードのの実行中は、測定器での設定の変更（負荷率、最大負荷、単位、ドーリ面積など）は測定プロットに反映されません。変更を反映させるには、測定プロットを停止して再開する必要があります。

© 2014 Proceq SA

「ライブビュー」アイコンをクリックしてダイアログを開きます:

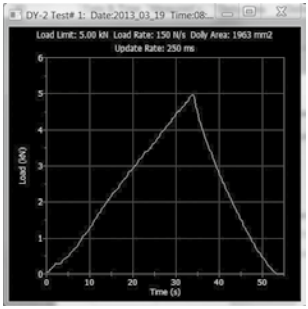




測定更新レートでは、曲線の作成に使用するデータポイントの個数を指定します。
最大Y軸は、自動で設定するか、測定器の最大負荷設定を使用することができます。
デフォルト設定では、1つのウィンドウを使用して負荷率を表示します。複数の試験を比較する場合は、それぞれの試験を個別のウィンドウで開くことができます。

「開始」を押してライブビューウィンドウを開きます:

DY-2で試験を開始すると、試験が完了するまで、負荷の増加がリアルタイムで表示されます



注意：この曲線は参考のためのものです。保存された曲線データを表示するには、保存した測定値をダウンロードする必要があります。

校正

Proceq DY-2は、EN ISO 7500-1付属書C「試験機を等級分類するときの代替的方法」に従って校正されています。

このソフトウェアでは、再校正または以前に保存された校正へのリセットを行うことができます。

構成手順について説明した取扱説明書は、[ヘルプ] メニューから参照することができます。

© 2014 Proceq SA

ノート

© 2014 Proceq SA

ノート

© 2014 Proceq SA

Proceqヨーロッパ
リングシュトラーセ2
CH-8603 シュヴェルツェンバハ
電話　　+41-43-355 38 00
ファクス　+41-43-355 38 12
info-europe@proceq.com

Proceqイギリス有限会社
ベッドフォードのi-lab、プライオリービジネスパーク
スタナード・ウェイ
ベッドフォードMK44 3RZ
イギリス
電話　　+44-12-3483-4515
info-uk@proceq.com

ProceqUSA有限会社
117会社ドライブ
アリクイッパ,PA 15001
電話　　+1-724-512-0330
ファクス　+1-724-512-0331
info-usa@proceq.com

Proceqアジア有限私的貿易会社
12ニューインダストリアルロード
#02-02A モーニングスター・センター
シンガポール536202
電話　　+65-6382-3966
ファクス　+65-6382-3307
info-uk@proceq.com

ProceqロシアLLC
Ul. オプティコブ4
コープ 2, リット A,オフィス410
197374セントピーターズバーグ
ロシア
電話/ファックス + 7 812 448 35 00
info-russia@proceq.com

プロセク中東
P. O. ボックス 8365, SAIF ゾーン,
シャージャ、アラブ首長国連邦
電話　　+971-6-557-8505
ファックス　+971-6-557-8606
info-middleeast@proceq.com

ProceqSAO有限会社
南米の活動
アラメダジャー、1905、cj 54
ジャルジンパウリスタ、サンパウロ
ブラジルセップ。01420-007
電話　　+55 11 3083 38 89
info-southamerica@proceq.com

中国プロセク
ユニットB、19階
五大陸国際マンション、ナンバー807
肇嘉浜町
上海200032
電話　　+86 21-63177479
ファクス　+86 21 63175015
info-china@proceq.com

予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。所有権© 2014Proceq SA,シュヴェルツェンバハ すべての権利を保有しています。パート番号：82034601J ver 12 2014